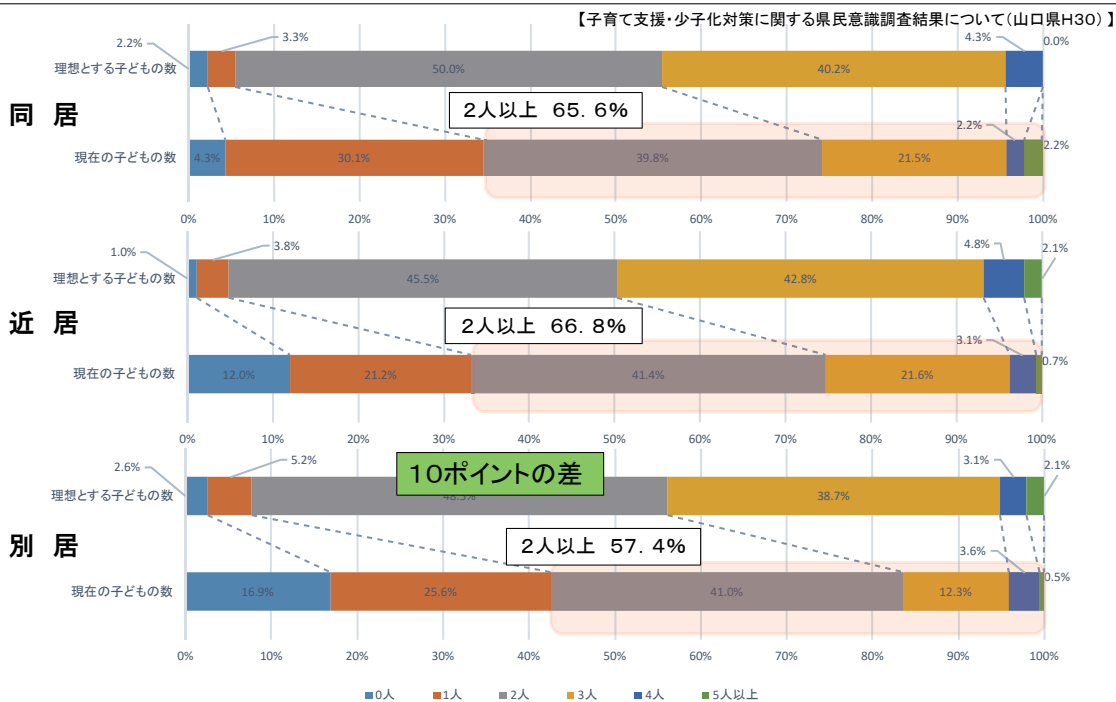


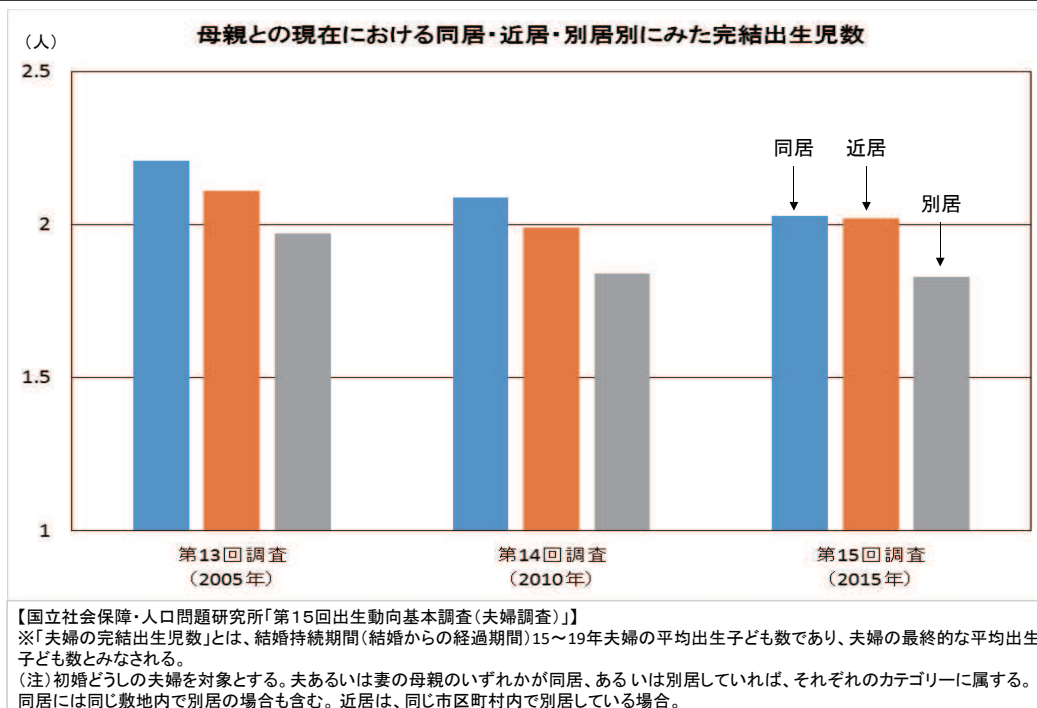
居住形態に見る子供の数【山口県】

○実際の子供の数が2人以上の割合は、同居(65.6%)、近居(66.8%)で、別居の場合は、57.4%と、10ポイント近く下回る。



母親との現在における同・近・別居の別に見た完結出生児

○別居に比べ、同居・近居の方が完結出生児数も多い傾向

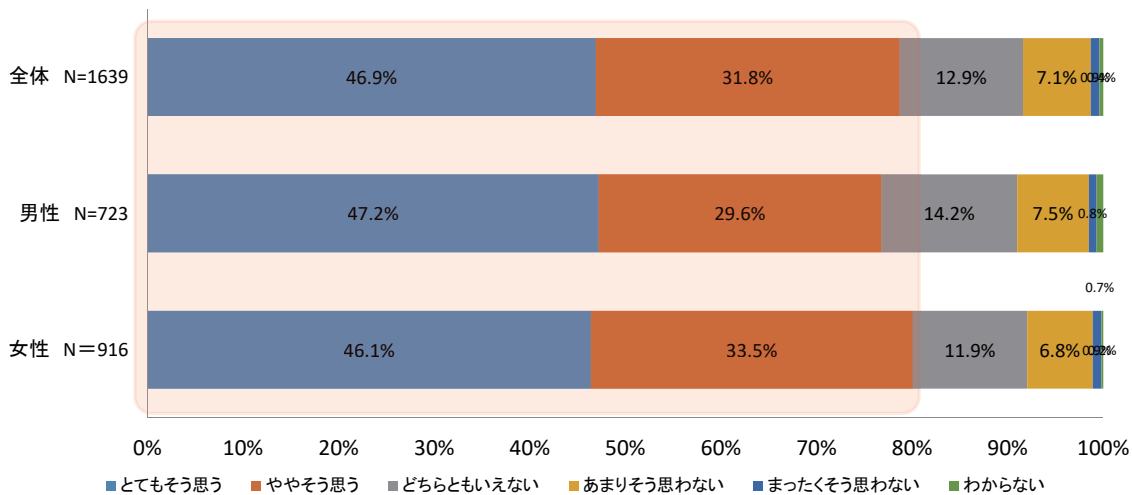


祖父母の育児や家事の手助け

○子どもが小学校に入学するまでの間、祖父母が育児や家事の手助けをすることが望ましいとする回答が、約8割を占める。

【平成25年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」(内閣府)】
※調査対象: 全国の20~79歳までの男女

祖父母の育児や家事の手助け

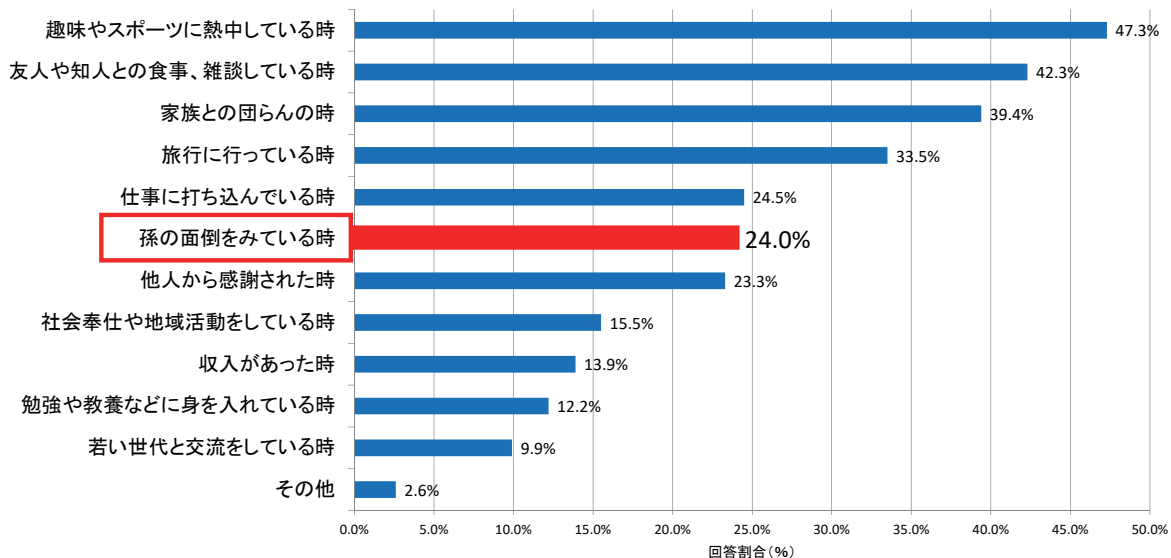


高齢者の生きがい【国調査】

○「孫の面倒をみている時」に生きがいを感じるとの回答が24%
→孫の面倒をみることは、負担に感じていないと考えられる

【平成23年「高齢者の経済生活に関する意識調査」(内閣府)】
※調査対象: 全国の55歳以上の男女

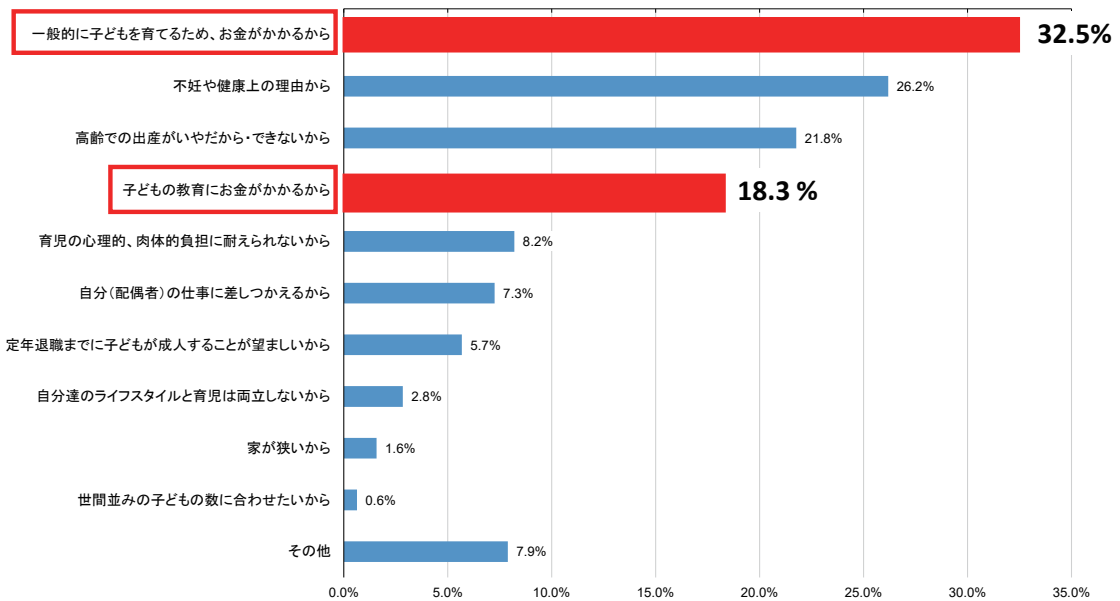
どのような時に生きがいを感じるか(複数回答) N=2550



理想の子どもの数を持たない理由【山口県】

○「子供を育てるのにお金がかかるから」、「子供の教育にお金がかかるから」という理由が上位にある。
→経済的な理由がネックとなっている可能性

【子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査結果について(山口県H30)】



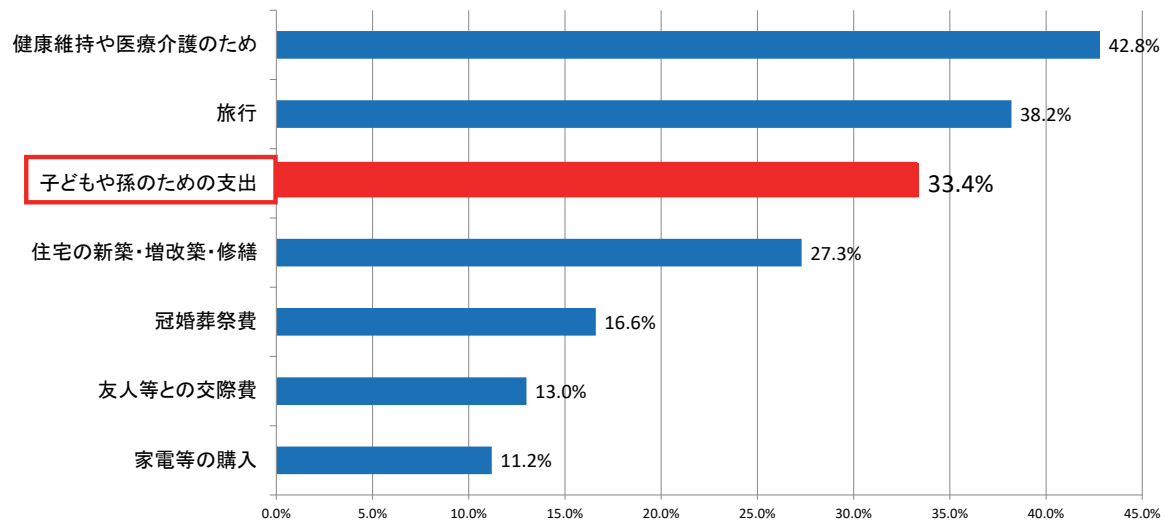
高齢者が今後、優先的にお金を使いたいもの【国調査】

○「子どもや孫のための支出」との回答が、約3割ある。
→孫関係支出による消費効果

同居の孫: 8.7万円/人、別居の孫: 7.2万円/人
「孫」への支出実態調査(2011年度調査)(共立総合研究所(岐阜県))

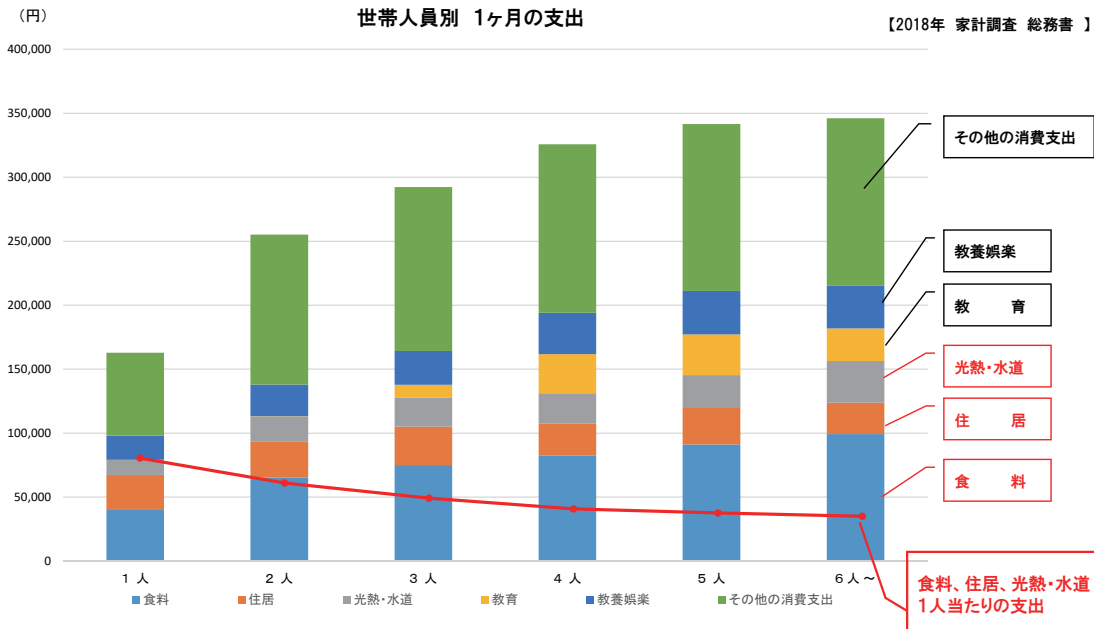
【平成23年「高齢者の経済生活に関する意識調査」(内閣府)】
※調査対象: 全国の55歳以上の男女

優先的にお金を使いたいもの(3つまでの複数回答)



世帯人員別 1ヶ月の支出【国調査】

○同居する人数が多くなるほど、一人当たりの生活費は安くなる。

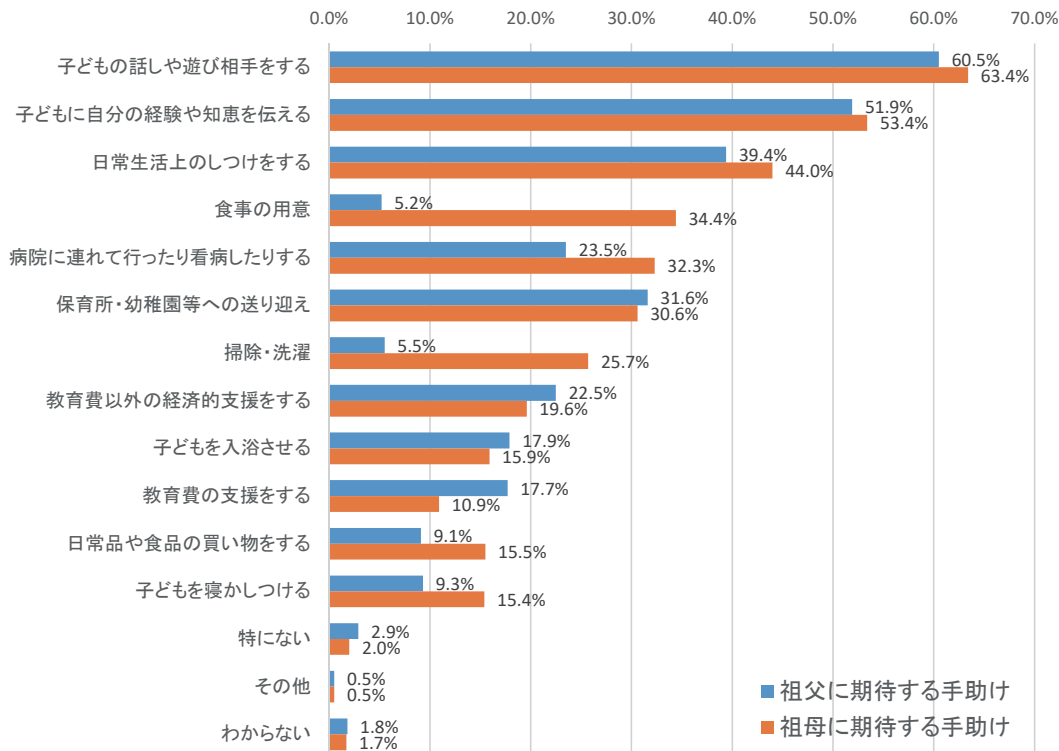


祖父母に期待する手助け【国調査】

○祖父母に期待する手助けの1位は子どもの話や遊び相手をするで、約60%が回答。
○2位は、子どもに自分の経験や知恵を伝える、3位は日常生活上のしつけをする。

【平成25年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」(内閣府)】
※調査対象: 全国の20~79歳までの男女

祖父母に期待する手助け(複数回答)



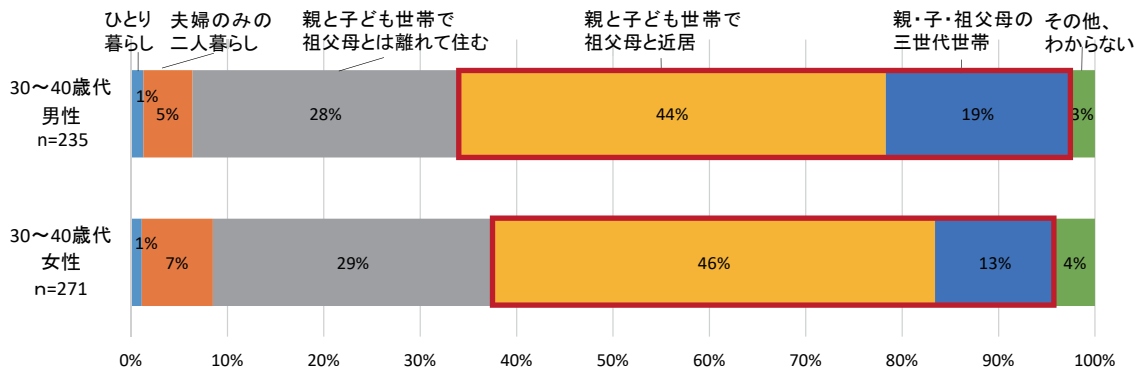
理想の家族の住まい方【国調査】

- 子育て世代にあたる 30～40 歳代の約 60%が、三世同居・近居を理想の家族の住まい方と考えている。
- 三世世帯の約 65%が、三世同居・近居を理想の家族の住まい方と考えており、二世世帯(親と子)や他の世帯構成に比べて多い。

【平成 25 年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」(内閣府)】

※調査対象：全国の 20～79 歳までの男女

■ 30～40 歳代(抜粋)



■ 世帯構成別

